

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第420号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2023

みんなで作る
錦城高校新聞

一面：七人の教育実習生を特集！
後夜祭の進捗状況は？
二面：今期生徒会の活動状況まとめ
過去記事セレクト ショーン第三弾！

夢へ向けて邁進する実習生たち

2023教育実習生インタビュー

5月29日(月)から6月17日(土)にかけて7人の先生が教育実習生として錦城に来ている。今号では、先生たちの学生時代や教員を目指した理由などをインタビューした。

今年、教育実習に来た55回生は「コロナの影響を受けなかった最後の世代である(卒業式は簡易開催となった)。球技大会や普段の授業を通して面は多かったと思う。」と感想を述べた。

特に授業内で導入されるようになった電子黒板や、球技大会で行われていた先生チーム対生徒の優勝チームの試合である「エキシビジョンマッチ」が行われなくなったこと、入試結果を貼りだすときに個人の名前をはり出していないことなどから変化を感じたと話した。

また、久野凌雅先生は以前行われていた3年生を送る会(現在は卒業式で司会を務めたことがあるという。当時の三送会は自由参加だったそうだが、600〜700人ほどの人数が参加したそう。司会者だったため、会の最初に流されるオープニングビデオを作ったり、企画の間のつなぎとして漫才をしたりもしたという。

久野先生は「夏休みに学校に来てオープニングビデオを作るなど、大変なことも多かったですが、参加した人みんなが楽しんでくれて良かった」と当時を振り返った。

またコロナ禍が落ち着いたことにより、今年の錦城祭からは飲食企画の実施が復活した。昨年まで制限されていたこともあって、24のクラスや部活から飲食企画の応募があったそう。そのうち企画案が合格になったのは14の団体で、今年の錦城祭では多くの食べ物や飲み物を楽しむことができると決まった。

また情報発信していくことも、記憶に残るような後夜祭の開催を目指して今後とも錦城祭に向けて準備していきたい。



丸山先生をセンターに笑顔

戻りゆく錦城の『祭』

6月8日(木)、後夜祭実施に向けた説明会が行われた。3年ぶりの開催となる後夜祭は、出演希望者がとても多く、特に3年生の応募が多数で、演目としてはバンドや漫才、ダンスの披露が多いとされている。

後夜祭実行委員会副委員長の見上優さん(2D)は、後夜祭の実行に向けて「3年ぶりの後夜祭を盛り上げて、さまざまな情報を発信していくことも、記憶に残るような後夜祭の開催を目指して今後とも錦城祭に向けて準備していきたい。」と意気込みを語ってくれた。



現在も募集中！

理科科目の先生方

理科 町田華主妃先生
明治大学農学部農学科
錦城生時代、所属していたテニス部の仲間と小平を探索することが好きだったと話す町田華主妃先生。生物の教員になろうと思った理由について「自然が好きで、植物の魅力や生物の仕組みを知る時のワクワク感をみんなに知ってほしいと思ったからです」と話してくれた。錦城生に向けて「沢山勉強をしていると思いますが、高校生活は3年間しかないので大切に過ごしてください」と笑顔で話した。



放課後に寄り道をしていました

数学科 三原侑司先生
中央大学理工学部数学科
錦城生だった当時はフットサル部に所属していた三原先生。関東大会を目指して日々練習を重ねていたそう。理想の教師像に社会科の石井智先生を挙げ「真面目で優しく、生徒に親身になってくださる先生です。部活の指導

学生時代には数学オリンピックに熱中していたという久野先生。錦城在学中に2回出場したそう。久野先生は数学が好きだったこと、人に教えることが楽しかったことか

理由は、友達に勉強を教えた時に人に教えることが楽しかったことか

山本先生が教員を目指した理由は、友達に勉強を教えた時に人に教えることが楽しかったことか

また、遠藤先生は生徒に寄り添った授業、体を動かして生徒のリフレッシュになるような授業にしたいと語る。最後に、錦城生に対して「高校生活は人生の中でかけがえのない時間なので、どんどん新しいことに挑戦してほしい」と話してくれた。

丸山智大先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

実習生が語る教育実習のながれ

教師になる過程について、教育実習の前後の流れや感想などを今回教育実習生として錦城高校に来てくれている松本直子先生に取材した。なお、このコーナーは次号以降しばらく連載する予定です。

教育実習生として学校に来るには、面接を受ける必要があるそう。松本先生も1年前の5月ごろに錦城へ来て面接を受けていたと話す。また、実習を行う前にはいい授業ができるように自分が実習を行う科目の教科書を使いながらシミュレーションを行い、大学の先生に見てもらって助言を心がけていきたいです」と意気込みを語った。

また、遠藤先生は生徒に寄り添った授業、体を動かして生徒のリフレッシュになるような授業にしたいと語る。最後に、錦城生に対して「高校生活は人生の中でかけがえのない時間なので、どんどん新しいことに挑戦してほしい」と話してくれた。

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

丸山先生は、自分の見た環境でやりたいということから、錦城へ実習に来た

井君の入部届をもらいたい

将棋部は現在1年生7人、2年生7人の計14人で13、2年生4人の計7人で活動している。週に3日練習している。部長は、金曜日には柔道場、水曜日には将棋部という性質上男子部員は多いので、女子部員にも来てほしいです」と語る。

将棋部員の中で女子部員は、1年生2人、2年生2人、1年生1人だそう。初心者、経験者関係なく夏の全国高等学校総合文化祭で、興味のある方は今から鹿兒島大会に出場する予定でも見学に来てみてください」と話した。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

柔道部に入部した1年生の松岡一吹さん(1J)は「最初に柔道部と聞いたときは厳しいイメージを持っていたのですが、実際に入ってみると先生や先輩方も優しく教えて下さり、練習も週に3回で習慣的に運動できるのでとても楽しい部活でした。勉強の両立も大丈夫です。体験でもいいので一度訪れてみてください」と元気に答えてくれた。

むらさき草

数週間前から、今期の春アニメ目を離せないアニメがある。それは赤坂アカさんと横槍メンゴさんの漫画が原作の『推しの子』というアニメだ。▼作品のストーリーは、前世でアイドル星野アイのファンだった主人公2人が、アイの子どものとして転生してしまい、ある事件をきっかけに芸能界に飛び込んで奮闘するというのが、本作中では「嘘は、身を守る最大の手段でもあるから」というセリフがある。社会やネットの相手などの求めるキャラを被り、本来の自分を守るという意図▼小学生の頃、友人に対して友人の好きなものや個性に合わせ接していた。今振り返ってみると、その関係はただ表面的なものでもあり、もっと勇気を出して本来の自分をさらけ出せばよかったと思う。しかし中学2年生のころ、よく自分を出さずと自分勝手な行動や相手を尊重しない発言をしてしまった。その時適度なウソも必要なのだと強く感じた▼インターネットでは、自分をさらけ出すことは炎上や誹謗中傷の発生などのリスクが高い。例えば、今まで相手に合わせて付き合っていたネット上の友達に、いきなり本来素の自分を出して接する。結果馬が合わず、その人間関係は崩れたり、それがグループチャットでは誹謗中傷が行われたりするかもしれない▼自分の中で嘘の線引きをすることが重要だと考える。それを考えて、今の人間関係がどのように変化するかを予測するのは難しいだろう。しかし私はこれからの生活で、嘘の線引きをした後悔のない人間関係を築いていこうと思う。

数週間前から、今期の春アニメ目を離せないアニメがある。それは赤坂アカさんと横槍メンゴさんの漫画が原作の『推しの子』というアニメだ。▼作品のストーリーは、前世でアイドル星野アイのファンだった主人公2人が、アイの子どものとして転生してしまい、ある事件をきっかけに芸能界に飛び込んで奮闘するというのが、本作中では「嘘は、身を守る最大の手段でもあるから」というセリフがある。社会やネットの相手などの求めるキャラを被り、本来の自分を守るという意図▼小学生の頃、友人に対して友人の好きなものや個性に合わせ接していた。今振り返ってみると、その関係はただ表面的なものでもあり、もっと勇気を出して本来の自分をさらけ出せばよかったと思う。しかし中学2年生のころ、よく自分を出さずと自分勝手な行動や相手を尊重しない発言をしてしまった。その時適度なウソも必要なのだと強く感じた▼インターネットでは、自分をさらけ出すことは炎上や誹謗中傷の発生などのリスクが高い。例えば、今まで相手に合わせて付き合っていたネット上の友達に、いきなり本来素の自分を出して接する。結果馬が合わず、その人間関係は崩れたり、それがグループチャットでは誹謗中傷が行われたりするかもしれない▼自分の中で嘘の線引きをすることが重要だと考える。それを考えて、今の人間関係がどのように変化するかを予測するのは難しいだろう。しかし私はこれからの生活で、嘘の線引きをした後悔のない人間関係を築いていこうと思う。

数週間前から、今期の春アニメ目を離せないアニメがある。それは赤坂アカさんと横槍メンゴさんの漫画が原作の『推しの子』というアニメだ。▼作品のストーリーは、前世でアイドル星野アイのファンだった主人公2人が、アイの子どものとして転生してしまい、ある事件をきっかけに芸能界に飛び込んで奮闘するというのが、本作中では「嘘は、身を守る最大の手段でもあるから」というセリフがある。社会やネットの相手などの求めるキャラを被り、本来の自分を守るという意図▼小学生の頃、友人に対して友人の好きなものや個性に合わせ接していた。今振り返ってみると、その関係はただ表面的なものでもあり、もっと勇気を出して本来の自分をさらけ出せばよかったと思う。しかし中学2年生のころ、よく自分を出さずと自分勝手な行動や相手を尊重しない発言をしてしまった。その時適度なウソも必要なのだと強く感じた▼インターネットでは、自分をさらけ出すことは炎上や誹謗中傷の発生などのリスクが高い。例えば、今まで相手に合わせて付き合っていたネット上の友達に、いきなり本来素の自分を出して接する。結果馬が合わず、その人間関係は崩れたり、それがグループチャットでは誹謗中傷が行われたりするかもしれない▼自分の中で嘘の線引きをすることが重要だと考える。それを考えて、今の人間関係がどのように変化するかを予測するのは難しいだろう。しかし私はこれからの生活で、嘘の線引きをした後悔のない人間関係を築いていこうと思う。

数週間前から、今期の春アニメ目を離せないアニメがある。それは赤坂アカさんと横槍メンゴさんの漫画が原作の『推しの子』というアニメだ。▼作品のストーリーは、前世でアイドル星野アイのファンだった主人公2人が、アイの子どものとして転生してしまい、ある事件をきっかけに芸能界に飛び込んで奮闘するというのが、本作中では「嘘は、身を守る最大の手段でもあるから」というセリフがある。社会やネットの相手などの求めるキャラを被り、本来の自分を守るという意図▼小学生の頃、友人に対して友人の好きなものや個性に合わせ接していた。今振り返ってみると、その関係はただ表面的なものでもあり、もっと勇気を出して本来の自分をさらけ出せばよかったと思う。しかし中学2年生のころ、よく自分を出さずと自分勝手な行動や相手を尊重しない発言をしてしまった。その時適度なウソも必要なのだと強く感じた▼インターネットでは、自分をさらけ出すことは炎上や誹謗中傷の発生などのリスクが高い。例えば、今まで相手に合わせて付き合っていたネット上の友達に、いきなり本来素の自分を出して接する。結果馬が合わず、その人間関係は崩れたり、それがグループチャットでは誹謗中傷が行われたりするかもしれない▼自分の中で嘘の線引きをすることが重要だと考える。それを考えて、今の人間関係がどのように変化するかを予測するのは難しいだろう。しかし私はこれからの生活で、嘘の線引きをした後悔のない人間関係を築いていこうと思う。

数週間前から、今期の春アニメ目を離せないアニメがある。それは赤坂アカさんと横槍メンゴさんの漫画が原作の『推しの子』というアニメだ。▼作品のストーリーは、前世でアイドル星野アイのファンだった主人公2人が、アイの子どものとして転生してしまい、ある事件をきっかけに芸能界に飛び込んで奮闘するというのが、本作中では「嘘は、身を守る最大の手段でもあるから」というセリフがある。社会やネットの相手などの求めるキャラを被り、本来の自分を守るという意図▼小学生の頃、友人に対して友人の好きなものや個性に合わせ接していた。今振り返ってみると、その関係はただ表面的なものでもあり、もっと勇気を出して本来の自分をさらけ出せばよかったと思う。しかし中学2年生のころ、よく自分を出さずと自分勝手な行動や相手を尊重しない発言をしてしまった。その時適度なウソも必要なのだと強く感じた▼インターネットでは、自分をさらけ出すことは炎上や誹謗中傷の発生などのリスクが高い。例えば、今まで相手に合わせて付き合っていたネット上の友達に、いきなり本来素の自分を出して接する。結果馬が合わず、その人間関係は崩れたり、それがグループチャットでは誹謗中傷が行われたりするかもしれない▼自分の中で嘘の線引きをすることが重要だと考える。それを考えて、今の人間関係がどのように変化するかを予測するのは難しいだろう。しかし私はこれからの生活で、嘘の線引きをした後悔のない人間関係を築いていこうと思う。

任期半分終了！生徒会役員の公約達成度は？

役職	氏名	公約内容	達成度
生徒会長	高梨恭一さん(3D)	・中央委員会の内部改革	55%
		・自習室開放時間の延長	65%
		・ローファアの自由化	70%
		・カイロのリサイクル実施	90%
生徒会副会長	山田拓仁さん(2K)	・ペットボトルキャップのリサイクル実施	計画中断
		・紙ごみの分類通知	無回答
		・靴下の自由化	40%
監査委員長	加園玲也さん(3K)	・代議改革	約60%
監査副委員長	浦山一花さん(2E)	・部活動の任意の休止期間設置(テスト期間前)	50%
錦城祭実行委員長	田口桜子さん(2C)	錦城祭の達成度に関しては任期終了時に掲載します	-

生徒総会
5月17日(水)の6限目に第一体育館で生徒総会が行われた。一昨年度まで新型コロナウイルスの影響で、放送で開催されていた生徒総会だが、今回は今年度と同様に第一体育館で開催することができた。

まず初めに行われたのは令和4年度の決算報告の審議で、事前質問制を採用して質問を受け付けていたが、質問が寄せられなかったため賛成承認された。

次に今年度の予算案についての審議が行われた。監査委員である加園玲也さん(3K)から昨年度に比べて各部の予算が減少傾向にあることについて、コロナ化で制限されていた行事がもとに戻りつつあることで繰越金が減ったという説明がされた。今年度の予算案についても事前質問はなく、賛成多数で無事に承認された。

任期満了まであと半年
錦城高校令和5年度生徒会が発足し、半年を過ぎたことを受けて、生徒会長である高梨恭一さん(3D)に話を聞いた。高梨さんは「全体的に政策を進めることができていると思います」と話してくれた。

高梨さんは現生徒会の公約達成度について、公約を達成することに必要枠組みは完成したと話し、約55%を進めることができたと語る。「この

カイロリサイクルの現状に迫る
本当に達成率は9割なのか

生徒会によって昨年度の3学期に集められた使い捨てカイロ。回収されたはずのカイロが未だに生徒会室前の段ボールに残っている。このことについて生徒会副会長の山田拓仁さん(2K)に質問した。

この取り組みは、回収されたカイロを愛知県の業者に送り、ヘドロの水を浄化する物質に変えるというもの。「立案

「自分は掲げた公約を達成させることができなかったのだから申し訳ない」と思っています。今回はカイロの回収期間を

前回の3週間から延ばし、より多くのカイロを集めたいと思っています」と話した。

最後に、「この公約はまだ達成していませんが、他の公約は実現に向けて動いています。実現できるよう努力しています」と意気込んだ。(暁)

～錦城祭実行委員会～
ポスターの絵、募集中です!!

新聞講習会が開講!

6月10日(土)に三輪田学園高校にて、学校新聞講習会が行われた。都内の新聞部や新聞委員会がある高校が集まり、他校の生徒と協力し新聞の企画を考え、実際に講習会に参加した都立川高校の中村孝太郎さん(1年)は「初めて講習会に参加しましたが、新聞づくりに携わる人の志の高さを感じました」と講習会を振り返る。そして「今回の講習会で自分なりに新聞づくりの流れを確認できたので、普段の新聞づくりに生かしていきたいです」と今後の意気込みを語った。(紫)

沖縄から学ぶ戦争、平和への祈り

錦城高校新聞 過去記事セレクション

2016年3月1日に発行された第193号は、当時の2年生が行った沖縄修学旅行を奪われた。一般市民の犠牲者数は、戦死した兵士の数を上回るという。

この紙面では訪れた施設の紹介と刻銘碑や防空壕の跡などが沖縄本土を中心に激しく争った沖縄戦。この戦いでは多

生徒の声を多く含んだ紙面となっている

半年で、「関係者」とのコミュニケーションを多くすることを目指した。生徒会役員がそれぞれ掲げた公約を達成するために、足場を固めた半年だったと思います」と話す。

高梨さんは「ここで言った『関係者』とは、生徒や先生、事務の先生に至るまで、自分達が達成すべきことに関わる全ての人のことを指すのだと思う。また、高梨さんは今期の生徒会の課題点について、少数派の意見を反映しきれていなかったことを挙げた。「生徒会では今年度、例年通りの代議委員を通したアンケートや抽出アンケートに加え、新たに生徒会クラスルームを開設しました」と語る。その生徒会クラスルームについては、生徒への周知が弱く、今まで2回実施したアンケートの回答割合は平均で3割程度だったそう。「アンケートの回答率は、回を重ねるごとに上昇していますが、やはり学年によって偏りがあるように感じます」と高梨さん。偏りがあることによって、生徒の意見をまんべんなく反映することができず、少数派の意見を取り入れることができないことがあるため、生徒への周知をこれからの課題とした。また「今回のように生徒への周知が弱かった

にアンケートと、それに伴う行動力に弱かったことも理由の1つとしてあります」と話す。それらを踏まえたうえで、高梨さんは、生徒により一層アンケートなどの認識を深めてもらうために、中央委員会3学年全員で自身のコミュニケーションで生徒会について発信していくこと、今までより広い範囲から意見を取り入れるスタイルを確立して視野を幅広く

たという事実は、生徒会側の行動力が弱かったことも理由の1つとしてあります」と話す。それらを踏まえたうえで、高梨さんは、生徒により一層アンケートなどの認識を深めてもらうために、中央委員会3学年全員で自身のコミュニケーションで生徒会について発信していくこと、今までより広い範囲から意見を取り入れるスタイルを確立して視野を幅広く

「残り半年に向けて、スピードを上げていき、余裕を持ってゴールしたいです」とこれからの意気込みを語る。

最後に、錦城生についてメッセージを聞くと「錦城高校は、様々な性格を持った委員会があるため、それぞれの個性を生かしながら目標に向けて頑張っていくてください。そして、ご協力の程心よりよろしくお祈りいたします」と話してくれた。(珠)

生徒会の経過を語る

高梨さんは「ここで言った『関係者』とは、生徒や先生、事務の先生に至るまで、自分達が達成すべきことに関わる全ての人のことを指すのだと思う。また、高梨さんは今期の生徒会の課題点について、少数派の意見を反映しきれていなかったことを挙げた。「生徒会では今年度、例年通りの代議委員を通したアンケートや抽出アンケートに加え、新たに生徒会クラスルームを開設しました」と語る。その生徒会クラスルームについては、生徒への周知が弱く、今まで2回実施したアンケートの回答割合は平均で3割程度だったそう。「アンケートの回答率は、回を重ねるごとに上昇していますが、やはり学年によって偏りがあるように感じます」と高梨さん。偏りがあることによって、生徒の意見をまんべんなく反映することができず、少数派の意見を取り入れることができないことがあるため、生徒への周知をこれからの課題とした。また「今回のように生徒への周知が弱かった

錦城高校 クイズ研究会 × 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2023

【第5回】 入会希望者は 大浦優太(3L)まで!

紙面の都合により、今号より隔号の企画になります。突然の発表で申し訳ありませんが、今後ともよろしくお願いいたします。

初めに、前回の答えを発表します。正解は「Q.酸素」でした。

A、B、Cに加え、問題文冒頭のQも記号として考えます。また「酸素」という概念が存在する前の世界にも「酸素」という物質自体は存在するので、酸素が発見される前にも、人類は酸素で呼吸していたと言えます。よって、答えはQ.酸素となります。

大会報告


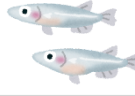
将棋部
▽5月4日
都大会 男子個人戦選手権 準優勝

硬式テニス
▽5月14・20日
東京都高等学校総合体育大会・東京と高等学校テニス選手権大会 女子の部 東京都ベスト16

陸上部
▽5月13・14・20・21日
高校総体東京都予選会 女子5000メートル競歩 早川愛花(2L) 1位入賞
吉川佳凜(3C) 2位入賞
池田美和(3L) 3位入賞

ソフトテニス部
▽6月5日
令和5年度関東高等学校ソフトテニス大会 田口・宮部ペア 出場(初戦敗退)

問題 表の「X」「Y」に入る記号は何でしょう?

	1	2	3	4	5	6	...	10
	○		=			○		X
	○		=			○		Y

沖縄で感じる戦争の爪痕

現在も世界では争いが絶えず起きている。昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻も未だ収束の兆しは見えていない。過去の戦争で命が失われた歴史を知り、今もなお戦争で多くの人々の命が脅かされていると考えると、平和を願わずにはいられない。

【編集委員の声】
私がこの紙面を選んだ理由は、私が幼少の頃に訪れたひめゆり平和祈念資料館について紹介していたからだ。ひめゆり平和祈念資料館は、まだ幼かった当時の私が戦争の恐ろしさを初めて実感した場所であり、またロシアとウクライナの戦争が未だ続いていることもこの紙面に興味を持って理由の1つだ。最近では、ニュースなどで取り上げられることが少なくなったように感じるが、今一度戦争について考えてみてほしい。(鋼)